

平成 2 3 年度
自治基本条例の運用状況検証結果

平成 2 5 年 3 月
おいらせ町自治推進委員会

平成23年度自治基本条例の運用状況検証結果について

自治基本条例第39条の規定に基づき、本条例の運用状況の検証を行うため、平成24年度1回の自治推進委員会を開催し、検証作業を行いましたので、その結果を報告します。

1) 町民の意見を求めるために実施した事務・事業

- ①各種計画の策定にあたりパブリックコメントや公聴会を実施し、広く町民の意見を求めている。

2) 事務・事業の計画や成果の公表並びに委員会等の会議公開及び会議録の公開状況

- ①公表方法は「広報紙」に掲載する件数が増えているが、まだ「ホームページ」のみで公表されているものがある。ホームページを見られない町民の方も多いので、今以上に広報紙を活用するなど公表方法を考えて欲しい。
- ②委員会等で行政以外の第三者の意見を求めた場合には、内容や会議録を公表してほしい。

3) 事前の予備知識や周知を目的とした町民に分かりやすい説明(会)等の取り組み状況

- ①震災復興については、様々な会議で話し合われているが、その内容を公表してはどうか。また、震災復興の進捗状況も合わせて公表してほしい。

4) 行政評価の実施状況について

- ①実施計画のローリングや予算編成、財政評価などを行政主体で行っているが、現在の取り組み方で良いと思う。
- ②新たに行政評価の仕組みを作り、町民に行政評価をお願いするとなると、作業量が膨大になり、町民に大変な負担をかけることになるのではないか。
- ③議会でも審議されているので、新たに評価制度を作る必要性を感じない。
- ④行政改革懇談会や補助金等評価委員会は、町民が参加するなど第三者の意見を取り入れているので良い。
- ⑤委員会や審議会などの目的が達成された際には、無駄に存続させないで、無くすべきと考える。

5) その他

- ①各種委員の公募は定着してきているが、公募に対して応募する人が少ない。また、応募する人が限られている。
- ②公募の際には、応募要件に報酬金額を明示するなど、たくさんの町民に関心を持ってもらえるように、公募の仕方を検討していただきたい。

以上、検証結果の報告とします。

なお、運用状況検証資料については、別紙をご参照ください。

平成25年3月

おいらせ町自治推進委員会

委員長 福原 仁一

副委員長 藤ヶ森 和子

委員 柏崎 利信

委員 工藤 一雄

委員 種市 恭子